

みんなでスポーツを!

第9号

2003.3

題字(財)福島県体育協会長 佐藤崇佐久

SPORTS FUKUSHIMA



福島県は どこにあるの



財団法人福島県体育協会副会長
福島県高等学校体育連盟会長
古市 孝雄

「あのー福島県はどこにあるのですか」「えっ(?!)
こうして並んでいる両隣を見ればわかると思うけど」「みやぎ県もどこにあるかわからないし」

そうか、そういうことか。

よさこい高知県秋季大会の開会式入場行進を前に、本県のプラカード嬢を勤めてくれた地元の女子高校生二人といろいろ話す機会がありました。

全国高校総体や国体の開会式入場行進の開始まで、サブグラウンドに集合して延々と待たなければなりませんので、その間、県のプラカードを持って一緒に進んでくれる地元の高校生と話すのは、とても楽しいことでもあります。それぞれの地域の高校の状態や高校生の実態を知るために、このときとばかり質問をいたします。

高校の校長をしていると相手に伝えますと、怪しまれることなく質問できますし、よく答えてくれるものです。

さて、本県はどこにあるのかの質問ですが、「東京はどうですか、青森県はわかりますか」と問う。東京はさすがにわかっている。青森県はあやしい。そこで、東北地方について、東京から北へ各県がどのような位置にあるかを説明する。

「北海道と津軽海峡をはさんで青森県があり ぼら津軽海峡冬景色という歌があるでしょう」というが「あーそうですか」と反応は鈍い。そうか、この生徒達は15か16歳。わからないはずだ。あの歌は30年ぐらいも前の歌だったよな。自分が15か16歳のとき30年前といたら昭和の初めのころか。年寄りの話は古くさいなあ。

「尾瀬は知っている？会津は？幕末に会津と土佐とは敵同士であったことはどう？白虎隊は？」「尾瀬は聞いたことがあるけど、あとは知らない」

福島県は東京から北へ160キロほどのところに南の県境、そこから北へ130キロほどのところに北の県境、東は太平洋、西は新潟県と接し、宮城、山形、新潟、群馬、栃木、茨城

に囲まれた東北地方で最も関東よりのと説明する。東北の玄関口であることを力説する。

ここまで説明を受けるとわからないとはいえないらしく肯くしかないので、本当のところは、県名がたくさん出すぎてよけいわかりにくくなったよう。年寄りの話はくどい。

そこで「ところで、ここは四国の高知県だけど、四国の位置関係はわかるかい」と質問してみた。徳島、香川、愛媛、高知はと。予想どおりよくわかっていない。

彼女達にとって福島県はどこにあるのかの質問は、ヒマつぶしの話題探しの質問であったのだ。

福島県はどこにあるかわからないという人に出会うことは多い。西の人達、特に京都、大阪から西の人達にとって東北地方なんて日本のハテのハテぐらいの認識で、東北6県の位置関係などに関心は薄く、東北は東北なのだ。北海道だけは日本の一番北と、不思議に存在感があるようです。

本県の高校生に高知県はどこにあるかと問うとき、四国の一県であることはともかく、四国の他の三県との位置関係を正確に言える者は少ないだろう。

プラカード嬢を勤めてくれた女子生徒に記念品を差し上げるが、これが大体は郷土玩具。実は、会津の赤ベコや三春駒はやめた方がよいのではないかと考えている。

「昔ね、おかあさんが高校生のとき土佐で国体があり、ある県、えーとなんといいつけ、そうそう北海道に近い東北の福島県選手団のプラカードを持って行進したの。その時の記念としてもらったのがこれだけ、福島県には昔、赤い牛や、角ばった馬がいたのね」といわれることをおそれています。

福島国体以来の10位台から30位台への後退はきわめて残念です。スポーツに強い福島県を全国にアピールして「福島県はどこにあるの」という質問を是非なくしましょう。

目次

- 1 第81回全国高等学校サッカー選手権大会
- 2 巻頭言「福島県はどこにあるの」目次
- 3 第57回国民体育大会成績概要
- 5 第58回国民体育大会冬季大会成績概要
- 6 平成14年度ビクトリー強化コーチ養成事業第2回コーチ会議
- 8 平成14年度表彰式
- 10 全国スポレク祭 指導者研修会(エンジョイ・スポーツセミナー2002)

- 12 日本スポーツマスターズ2002 ニュースポーツ種目の紹介「フライングディスク」
- 13 生涯スポーツ実践者紹介 体育施設とスポーツ教室の紹介「いわきゆったり館」
- 14 みんなでつくろう総合型！「フィットネス本郷」
- 15 スポーツと健康「アンチ・ドーピング」 INFORMATION
- 16 福島県県民スポーツ協力会会員紹介 編集後記

表紙・国民体育大会成績の写真については、福島民友新聞社の提供によるものです。

第57回国民体育大会成績概要

1 参加状況

大会	区分	会期	開催地	団長	参加競技数	派遣人数			
						役員	監督等	選手	合計
冬季	スケート・アイスホッケー競技会	平成14年1月26日(土)～1月30日(水)	北海道帯広市・清水町 浦幌町	山口 勇	2	14	5	33	52
	スキー競技会	平成14年2月20日(水)～2月23日(土)	新潟県妙高高原町 妙高村 他	大内 進	1(1)	13(20)	6(14)	52(34)	71(34)
夏季	大会	平成14年9月21日(土)～9月24日(火)	高知県高知市 他	猪俣 昭洲	10	19(24)	27(24)	118	164(24)
秋季	大会	平成14年10月26日(土)～10月31日(木)	高知県春野町 他	古市 孝雄	25	23(61)	52(21)	335(21)	410(82)

1 参加競技数()はバイアスロンで外数 2 人数()は競技団体派遣者数で外数 3 陸上競技会は10月21日(月)～24日(木)

2 競技成績

大会	区分	天皇杯				皇后杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順位	競技得点	参加得点	得点合計	順位
冬季	大会	10.0点	30点	40.0点	26位	3.0点	20点	23.0点	23位
夏季	大会	119.5点	100点	219.5点	29位	61.5点	100点	161.5点	23位
秋季	大会	281.0点	270点	551.0点	33位	73.0点	180点	253.0点	37位
合計		410.5点	400点	810.5点	33位	137.5点	300点	437.5点	35位



秋季大会 開会式 福島県選手団



レスリング フリースタイル69kg級 優勝 宮田選手



ボクシング 少年男子 ライトウェルター級 優勝 遠藤選手



バレーボール 成年女子 9人制 3位 福島銀行

3 秋季大会入賞状況

陸上競技	競技得点57.0点	15位	順位	得点	選手名	所属
成年男子	400m 砲丸投		8 5	1 4	佐藤 光浩 大橋 忠司	仙台大学大学院1年 国土館大学1年
成年女子	100m 400m 円盤投		5 4 6	1 8 3	松本真理子 吉田真希子 池田 理恵	石川中学校教員 (財)福島県体育協会 小野高校教員
成少女子	4×100mR		4	5	福島県 松本真理子 (財)福島県体育協会 吉田真希子 内島真由美 丹野 麻美 紺野可奈子 押山 由衣	石川中学校教員 喜多方高校3年 郡山東高校2年 野田中学校3年 日大東北高校1年
少年男子	A 100m 共1500m B 200m B 3000m 共円盤投		5 7 8 8 7	2 4 1 1 2	菅沢 泰裕 今井 正人 添川 隆博 横木 克宜 佐藤 圭太	聖光学院高校3年 原町 高校3年 喜多方第一中学校3年 会津高校1年 小高工業高校1年
少年女子	A 100m A 400m B 100mH B 砲丸投		8 1 3 2	1 8 6 7	内島真由美 丹野 麻美 押山 由衣 吉田いずみ	喜多方高校3年 郡山東高校2年 日大東北高校1年 平第二中学校3年
ボクシング競技	競技得点20.5点	12位	順位	得点	選手名	所属
少年男子	フライ級 ライトウェルター級 ウェルター級		3/4 1 2	5.5 8 7	横山 翔太 遠藤 広大 佐藤 矩彰	相馬農業高校3年 会津工業高校3年 福島明成高校3年
バレーボール競技	競技得点47.5点	10位	順位	得点	選手名	所属
成年男子 6人制			3/4	17.5	佐久間祐幸 菊地 賢二 小川 宏 土屋 裕史 田中 信次 相原 隆幸 遠藤 和祝 佐々木英博 上野城将志 酒井 大祐 鈴木 晃夫	常葉中学校教員 喜多方商業高校教員 福島大学教員 城西小学校教員 会津第一中学校教員 田村高校教員 (株)東北サッシ工業 (株)タカムラ 福島大学4年 東海大学3年 喜多方商業高校教員
成年女子 9人制			3	30	植野 和代 中川 朋恵 畑中 照美 富岡 尚子 水谷 千代 佐藤 千恵 宮脇 円 小池 絵美 畠山 紫乃 水口 沙織 三瓶 美紀	福島銀行(株) 福島銀行(株) 福島銀行(株) 福島銀行(株) 福島銀行(株) 福島銀行(株) 福島銀行(株) 福島銀行(株) 福島銀行(株) 福島銀行(株) 福島銀行(株)



陸上競技 少年女子 A400m 優勝 丹野選手



山岳 成年男子 優勝 福島県(真船選手)

レスリング競技	競技得点31.0点	17位	順位	得点	選手名	所属
成年男子	フリースタイル69kg級 フリースタイル85kg級 フリースタイル130kg級 グレコローマン76kg級 グレコローマン97kg級		1 5/4 1 5/4 5/4	8 2.5 8 2.5 2.5	宮田 和幸 五十嵐大介 諏訪間幸平 中里 充 星 秀隆	クリナップ(株) 男山酒造 クリナップ(株) 拓殖大学4年 星光園
少年男子	フリースタイル50kg級 フリースタイル130kg級 グレコローマン97kg級		5/4 5/4 5/4	2.5 2.5 2.5	金子 隼一 内海 達矢 長嶺 征尚	田島高校3年 喜多方工業高校1年 大沼高校3年

柔道競技	競技得点20.0点	26位	順位	得点	選手名	所属	
成年男子	53kg級 69kg級 105kg級		ジャーク スナッチ スナッチ	6 5 7	3 4 2	佐久間勝彦 佐久間勝彦 愛澤 基良 清野 裕司	ゼビオ(株) ゼビオ(株) 日本大学3年 福島明成高校教員
少年男子	56kg級 69kg級 77kg級		ジャーク スナッチ スナッチ	5 8 6	4 1 3	黒江 将伸 荒井 完明 本多 滋	川俣高校2年 川俣高校3年 勿来工業高校2年

自転車競技	競技得点27.0点	3位	順位	得点	選手名	所属
成年男子	スプリント 4km速度競走 4km団体追抜		3 5 8	6 4 1	文山 良晃 糸賀 賢司 園谷 崇 明珍多久雄 糸賀 賢司 小倉 知幸	福島県自転車競技連盟 日本大学1年 日本大学4年 日本大学2年 日本大学1年 東北学院大学1年
少年男子	個人ロードレース ポイントレース 1kmタイムトライアル エリミネーションレース 4km速度競走 4km団体追抜		8 3 8 8 3 8	1 6 1 1 6 1	熊谷 薫 熊谷 薫 金澤 竜二 永山 大輔 小野 大介 金澤 竜二 熊谷 薫 小野 大介 永山 大輔	岩瀬農業高校3年 岩瀬農業高校3年 学法石川高校2年 白河実業高校3年 平工業高校3年 学法石川高校2年 岩瀬農業高校3年 平工業高校3年 白河実業高校3年

馬術競技	競技得点18.0点	16位	順位	得点	選手名	所属
成年男子	標準障害飛越 スピード&ハンディネス		3 3	6 6	菅野 仁 菅野 仁	いわきホースパーク いわきホースパーク
成年女子	セントジョージ馬場		8	1	成島美恵子	三枝グリーンヒル乗馬クラブ
少年	標準障害飛越		4	5	高橋かほる	郡山女子大附属高校3年

山岳競技	競技得点35.0点	9位	順位	得点	選手名	所属
成年男子			1/4	35	菅野 富寿 芝田 洋市 真船 孝道	松川クリニック 昭和電工(株) 帝京安積高校教員

銃剣道競技	競技得点25.0点	6位	順位	得点	選手名	所属
少年男子			4	25	塩沼 稔久 有我 幸久 渡辺 隆二	須賀川高校3年 岩瀬農業高校3年 須賀川高校3年

第58回国民体育大会冬季大会成績概要

1 参加状況

大会	区分	会期	開催地	団長	参加競技数	派遣人数			
						役員	監督	選手	合計
冬季	スケート・アイスホッケー競技会	平成15年1月25日(土)~1月29日(水)	群馬県前橋市 高崎市・伊香保町	佐藤 憲保	2	14	5	35 (1)	54 (1)
	スキー競技会	平成15年2月22日(土)~2月25日(火)	北海道名寄市	大内 進	1 (1)	15	6 (13)	48 (3)	69 (16)

1 参加競技数の()はバイアスロンで外数 2 派遣人数の()は競技団体派遣者数で外数

2 競技成績

大会	区分	天皇杯				皇后杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順位	競技得点	参加得点	得点合計	順位
冬季	スケート競技会	12.0点	10点	22.0点	22位	7.0点	10点	17.0点	15位
	アイスホッケー競技会	0.0点	10点	10.0点	11位	-	-	-	-
	スキー競技会	18.0点	10点	28.0点	12位	9.0点	10点	19.0点	10位
合計		30.0点	30点	60.0点	22位	16.0点	20点	36.0点	17位

3 入賞状況

スケート競技		競技得点12.0点	総合順位	22位			
種別	種目	順位	得点	選手名		所属	
少年男子	500m	5	4	野内 俊吾	郡山北工業高校3年		
	10,000m	8	1	鈴木 洸翔	郡山北工業高校1年		
少年女子	500m	8	1	野内 聖子	郡山北工業高校2年		
	1,500m	7	2	松尾 弘美	帝京安積高校2年		
	2,000m リレー	5	4	野内 聖子	郡山北工業高校2年		
				遠藤 千種	郡山商業高校3年		
				後藤 綾香	郡山東高校3年		
				松尾 弘美	帝京安積高校2年		

スキー競技		競技得点18.0点	総合順位	12位			
種別	種目	順位	得点	選手名		所属	
成年男子B	スペシャルジャンプ コンバインド	4	5	渡部 巧	猪苗代高校教員		
		6	3	渡部 巧	猪苗代高校教員		
成年女子A	ジャイアントスラローム	2	7	三星 佳代	中京大学4年		
成年女子B	クロスカントリー	7	2	磯谷 圭	猪苗代中学校教員		
少年男子	クロスカントリー リレー	8	1	菊地 智則	猪苗代高校3年		
				一ノ瀬 正範	猪苗代高校2年		
				本田 勝則	会津工業高校1年		
				齋藤 康平	会津工業高校3年		



スピードスケート 少年女子 2000mリレー第5位 左:松尾選手 右:遠藤選手



スキー 成年女子A ジャイアントスラローム第2位 三星選手

シンポジウム 「競技力向上と アンチ・ドーピング」

平成15年1月20日(月)、福島県自治会館において開催された、平成14年度ビクトリー強化コーチ養成事業・第2回コーチ会議の内容を紹介します。ビクトリー強化コーチ養成事業とは、各競技団体において中心的指導者として強化にあたっている方々を指定し、指導者としてトップレベルの内容を学ぶことができるミーティング等を通して、これからの本県競技力の向上を担う指導者の養成を目的とするものです。国体実施競技から1名ずつ指定を受け、40名が参加しています。今回の会議では「スポーツとアンチ・ドーピング」に関して、本協会スポーツ医・科学委員会委員長の本宿尚氏に基調講演をいただき、さらに、福島大学教育学部助教授の川本和久氏、陸上競技女子400mハードル日本記録保持者の吉田真希子氏を招いて、「競技力向上とアンチ・ドーピング」というテーマでシンポジウムを行いました。以下は、基調講演とシンポジウムの内容からの抜粋です。



本県スポーツドクター第1号でもあり多方面で活躍。ドーピング検査を受けることは一流選手の証であると語る。

公立藤田総合病院名誉院長

本宿 尚氏

ドーピングとは、スポーツの競技や試合で、選手の能力を人為的にアンフェアに高める目的で薬物などを使用することです。ドーピングはなぜいけないのか。まず、競技者の健康を害するという事です。過去に自転車競技で興奮剤を使用した選手が多数死亡しています。また、フェアプレイの精神に反するという事です。スポーツは一定のルールの中で競技するものであり、ルール違反を認めれば社会悪となります。

禁止薬物の種類にはさまざまなものがあります。市販されている風邪薬や、漢方薬の中にも含まれています。また、医師が治療薬として処方する薬の中にも多くの禁止薬物があり、選手が医師の診察を受ける際は、ドーピング検査のことを説明する必要があります。ドーピングの問題は、選手や指導者だけでなく、医師やトレーナーの側からのアプローチも重要であり、早急に禁止薬物に関する認識を広めていかなければなりません。

国体でドーピング検査をやる意義としては、国体が我が国最大の総合体育大会であり、世界に認知される大会にす



るために必要であるということです。若いうちからアンチ・ドーピングの教育・啓蒙が大切であり、日本全体でアンチ・ドーピングの知識を持ち、薬物乱用の問題を含めた取り組みも考えていかなければなりません。

ドーピング検査をされるということは、疑われたのではなく、潔白であることを証明することであり、一流競技者の証であると考えべきでしょう。



福島大学陸上競技部監督としてインカレ等で活躍する選手を多数輩出。一流コーチの立場からドーピングの怖さを訴える。

福島大学教育学部助教授

川本 和久氏

ドーピング検査には、競技場で行われる検査と、抜き打ちで行われる検査の2種類があります。日本陸連では上位50傑の選手に抜き打ちの検査が課せられており、選手は日々の練習の日程と場所を報告する義務を課せられています。競技会での検査は、日常的かつ頻繁に行われており、必ずあるものだという認識で競技を行っています。検査の内容は採尿するだけですが、検査の過程が必ずしも信用できるものではなく、コーチが付き添って行きます。日常生活の中で服用する総合感冒薬などにも興奮剤が含まれており、また、医師が出す薬の中にも禁止薬物がたくさん含ま

れています。万が一、検査で禁止薬物が検出された場合、選手・コーチの頑張りも全て終わりになってしまいます。治療目的であろうと、ルールに従った制裁が課せられます。「うっかり飲んでしまいました。」という言い訳は通用せず、まわりからは疑いの目が向けられることになります。競技力が上がってくれば、何か薬物を使っているのではないかと疑われる状況があり、意図しようとしまいと、検査結果が陽性であれば終わりです。日常生活はもちろん、競技会では特に過敏なほどの注意意識を持って飲み物等を取らせるようにしています。

ドーピングはなぜいけないのか。薬は悪い状態を正常の状態に戻すためのものであり、正常な状態から上げるために使うのはアンフェアであるという考え方です。蛋白同化剤等はパフォーマンスを上げる大きな効果があり、通常1年から半年かかるトレーニング効果を1ヶ月で達成してしまうといわれます。スポーツにおける公正さを考えれば、正当なトレーニングで勝負すべきです。コーチの知恵とアイデアで勝負すべきです。それを捨てて、薬に頼ってしまうならばコーチはいらないと言えるでしょう。



女子400mハードルで今年度自己の持つ日本記録を更新。ドーピング検査体験と競技者の日常生活を紹介。

(財)福島県体育協会職員

吉田 真希子氏

今までに10回以上のドーピング検査を受けています。一つの大会で2回受けたこともあります。抜き打ち検査はいつあるかわからないため、非常に身近なものとして常に意識しています。

競技会において紙コップ等で出された飲み物は飲まないようにしています。飲み物は誰も開けていないのを確認して、自分で開けて飲みます。自分の飲み物は、辺りに置きっぱなしにしたりせず、誰にもさわられないよう荷物の奥にしまったりします。採尿には同性の立会人がつきますが、最近もしっかりと確認してもらってサインしてもらっています。

日常生活で気をつけているのは病気にかかった場合です。風邪を引いたときなども、冊子を持って医者に行き、医師の処方した薬しか飲まないようにしています。また、飲んだ薬も必ずメモしておいて、検査の際記入できるようにしています。市販の総合感冒薬は興奮剤が入っているので決して飲みません。コンビニのドリンク剤も絶対に飲みません。そのコーナーの前に立つのも嫌なほどです。

[主な意見・質問]

- ・検査項目はどの競技も同じなのか。ドーピングに関する意識には競技ごとに差があるかも知れないが、検査基準は全て同じである。
- ・中央競技団体からドーピングに関するガイドラインは示されるのか。国際基準に照らし合わせてガイドラインが示されるはずである。
- ・県体育協会からもガイドラインを示してほしい。来年度、日体協の委託事業としてアンチ・ドーピング教育・啓蒙事業を進めていく予定である。
- ・正露丸は飲んで大丈夫か。正露丸は大丈夫だが、正露丸トイは禁止薬物が含まれている。薬品名は正確に確認する必要がある。
- ・怪我の縫合のための麻酔は大丈夫か。局所麻酔は大丈夫。全身麻酔はだめ。
- ・サプリメント(栄養補助食品)は大丈夫か。食品といわれるものは基本的に大丈夫であるが、外国製のものや成分が未表示のものには十分な注意が必要。

~ 国民体育大会ドーピングコントロール実施計画 ~ (要旨抜粋)

- ・世界のスポーツ界におけるアンチ・ドーピング活動の動向を踏まえ、(財)日本体育協会は、国体における競技や記録の公正さを保つため、ドーピングコントロールの実施を決定した。
- ・検査方式は、競技会時に実施される「競技会検査」と、それ以外の「競技会外検査」がある。検査は、世界アンチ・ドーピング規程に準拠して行われ、当面、競技会検査は検査態勢の整った競技団体及び競技会場から順次実施する。一方、検査態勢の未整備な競技団体及び競技会場では、競技会外検査を適用する。
- ・平成15年「静岡国体」夏季・秋季大会から実施され、15年夏季・秋季大会と16年冬季大会で、競技会30検体、競技会外20検体の計50検体を予定しており、以降、4年間で順次検体数を増やし、300検体程度を目標とする。
- ・国体開催期間中にドーピング違反があり、裁定委員会でドーピング違反が確定したとき、当該競技者の成績は全て無効となる。チームの一員の違反及び資格停止等の制裁処分は、当該競技団体の関連規則に従う。

表彰式

平成14年度

平成14年度財団法人福島県体育協会表彰式は、平成14年11月29日（金）午後1時30分より、福島市の「ウエディングエルティ」で開催されました。

式では、各賞受賞代表者に会長の佐藤栄佐久知事より表彰

状と記念品が授与され、県議会副議長の櫛田一男様、県教育長高城俊春様の祝辞の後、受賞者を代表して星雄彦様より謝辞がありました。

懇談会では、受賞者と会長とのスナップ撮影や、会長をはじめ来賓の皆様より受賞者一人一人へ、お祝いと激励のことがありました。

今回受賞された皆様をご紹介します。（敬称は省略させていただきます。）



スポーツ功労賞者

（多年にわたり、本協会の運営並びに事務遂行に貢献し、本県スポーツの振興に功績のあった方々）

菊地 清人(県ソフトテニス連盟)	大槻良太郎(県水泳連盟)	星 雄彦(県バドミントン協会)	木村三樹郎(県柔道連盟)
松下 雅邦(県ラグビーフットボール協会)	伊藤 忠芳(県体操協会)	吉田 岳夫(県ソフトボール協会・県中地域連合)	大内 光雄(県北地域連合)
齋藤 博(会津地域連合)	新井田六雄(会津地域連合)	齋藤 治巳(相双地域連合)	石川 幸道(相双地域連合)

優秀選手賞(個人)

（本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた選手及び国際大会に出場した選手）

陸上競技	吉田真希子(財)福島県体育協会)	松本真理子(石川町立石川中学校)	小林 史拓(順天堂大学1年)	大橋 忠司(国士館大学1年)
	武者 由幸(日本大学1年)	菅野 卓弥(順天堂大学大学院2年)	今井 正人(原町高校3年)	丹野 麻美(郡山東高校2年)
	菅沢 崇裕(聖光学院高校3年)	内島真由美(喜多方高校3年)	三浦 茉莉(福島市立福島第三中学校1年)	関根 真駿(保原町立松陽中学校3年)
	吉田いづみ(いわき市立平第二中学校3年)	田嶋 和也(白河市立みさか小学校6年)	山崎 麻子(筑波大学4年)	松崎 彰徳(東洋大学3年)
	高橋 直之(日本大学東北高校)	高橋 和也(順天堂大学4年)	押山 由衣(日本大学東北高校1年)	添川 隆博(喜多方市立第一中学校3年)
	紺野可奈子(福島市立野田中学校3年)	渡邊 彩香(船引町立船引中学校2年)	根本 裕美(いわき市立磐崎中学校3年)	
ソフトテニス	関根 裕行(天理大学4年)			
卓球	原 晃(東京電力(株)福島第二原子力発電所)	深谷 亮幸(喜多方東高校)	岩本 爾郎(二本松市立二本松第三中学校)	堤 朱織(郡山東高校1年)
	深谷 由美(福島県卓球協会)	深谷 純子(郡山ザベリオ学園)	瓜生 惠美(喜多方市教育委員会学童保育園)	
剣道	田嶋 智春(日本大学東北高校)			
ボート	福地 愛(喜多方商業高校3年)			
水泳	山口 雅文(会津工業高校3年)	蛭田 尚宏(いわき市立湯本第一中学校3年)	山田 浩平(相馬市立日立木小学校6年)	飯野 陽菜(郡山市立高倉小学校5年)
	小松 健太(郡山市立桑野小学校5年)	穴戸さつき(保原町立保原小学校5年)	西川 友章(清陵情報高校)	小林 和真(郡山市立薫小学校5年)
自転車	金澤 竜二(学法石川高校2年)	熊谷 薫(岩瀬農業高校3年)	圓谷 崇(日本大学4年)	舟木 誠(東白川農商高校3年)
	小倉 知幸(東北学院大学1年)	高橋 唯之(東日本国際大学附属昌平高校3年)	文山 良晃(福島県自転車競技連盟)	小野 大介(平工業高校3年)
ライフル射撃	押味希生子(二本松市立まつが丘保育所)			
バドミントン	斎藤 亘(広野町立広野中学校)	齊藤 清人(小高工業高校)	平野 泰宏(福島学院短期大学)	
ボクシング	遠藤 広大(会津工業高校3年)	横山 翔大(相馬農業高校3年)	佐藤 矩敏(福島明成高校3年)	
弓道	八木 淑絵(福島商業高校3年)			
体操	佐原 尚樹(会津工業高校3年)			
スキー	星 なる美(日本女子体育大学3年)			
馬術	菅野 仁(いわきホースパーク)			
ウエイトリフティング	黒江 雄治(川俣町立川俣中学校3年)	清野 裕司(福島明成高校)		
レスリング	諏訪間幸平(クリナップ株式会社)	渡部 悠香(田島町立荒海中学校3年)	渡部 沙織(田島町立荒海中学校1年)	宮田 和幸(クリナップ株式会社)
フェンシング	草野 広美(いわき市立中央北中学校1年)	今井 祐輔(川俣高校3年)	今野 勝(専修大学1年)	
銃剣道	菅野 学(学校法人菅原学園専門学校デジタルアーツ仙台2年)			
空手道	新山恵里波(国士館大学1年)			
アーチェリー	服部久美子(日本体育大学3年)			
なぎなた	田中 厚(会津若松市立第一中学校3年)	新田 葵(会津若松市立第二中学校1年)	田川三早希(会津若松市立第五中学校3年)	
ボウリング	伊藤 文(株)東北装美)	鈴木 英子(トキコ 株))		
カヌー	佐藤 滋(二本松工業高校3年)	阿部 公貴(安達高校3年)	大内百合子(安達高校3年)	梅原 愛里(安達高校3年)
	高橋 美奈(安達高校3年)	和田 貴代(安達高校2年)	嶋原 恵子(筑波大学3年)	佐藤 絵美(筑波大学2年)
	佐藤由美子(筑波大学1年)	鉄地川原歩(大正大学1年)	吉田 英詠(筑波大学4年)	久野 綾香(東和町立東和中学校3年)
	菅野 由紀(東和町立東和中学校3年)	和田 藍加(大教イマンスイミングスクール二本松校)		
トランポリン	飯塚あやか(尚志高校2年)	菅沢奈緒美(尚志高校2年)		
障害スポーツ	増子 惠美(福島県障害者スポーツ協会)	田村 正志(有限会社オートテック)	水澤 耕一(あさか開成高校)	

優秀選手賞(団体)

（本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた団体）

陸上競技	男子第52回全国高校駅伝競走大会田村高校、第71回日本学生陸上競技対校選手権大会女子4×100m R 福島大学、第71回日本学生陸上競技対校選手権大会女子4×400m R 福島大学、第57回国民体育大会秋季大会陸上競技成年女子共通4×100m R 福島県、第86回日本陸上競技選手権リレー競技大会女子4×100m R 福島県、第86回日本陸上競技選手権リレー競技大会女子4×400m R 福島県、第33回ジュニアオリンピック陸上競技大会男子4×100m R 福島県選抜
軟式野球	高円宮賜杯第22回全日本学童軟式野球大会常磐軟式野球スポーツ少年団、第19回全日本少年軟式野球大会いわき松風クラブ
ソフトテニス	第13回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会女子団体福島県女子選抜チーム
卓球	平成14年度全国教職員卓球選手権大会男子団体福島県、平成14年度全国教職員卓球選手権大会女子シニア団体福島県、2002年第21回全日本クラブ卓球選手権大会女子5部(小・中の部) 富久山卓球クラブ
水泳	平成14年度全国中学校体育大会第42回全国中学校水泳競技大会男子400mリレーいわき市立湯本第一中学校
自転車	第37回全国都道府県対抗自転車競技大会4km団体追抜競走福島県自転車競技連盟、第71回全日本アマチュア自転車競技選手権大会トラックレース男子マディソン福島県自転車競技連盟、第71回全日本アマチュア自転車競技選手権大会トラックレース男子4km団体追抜競走福島県自転車競技連盟
バスケットボール	第32回女子全日本教員バスケットボール選手権大会福島県教員
バドミントン	第41回全日本教職員バドミントン選手権大会福島県一般男子団体
弓道	第13回全国大学弓道選抜大会日本大学工学部弓道部、第20回全国高等学校弓道選抜大会女子団体若松女子高校弓道部、第20回全国高等学校弓道選抜大会男子団体福島工業高校弓道部
体操	平成14年度全国中学校体育大会第33回全国中学校体操競技・新体操選手権大会新体操の部団体福島大学教育学部附属中学校
バレーボール	平成14年度全国9人制バレーボール実業団女子選手権大会福島銀行女子バレーボール部、第57回国民体育大会秋季大会バレーボール競技成年女子9人制福島銀行、JOCカップ第15回全国都道府県対抗中学バレーボール大会福島選抜男子
山岳	第57回国民体育大会秋季大会山岳競技成年男子福島県
銃剣道	第46回全日本銃剣道優勝大会都道府県連盟の部福島県銃剣道連盟、第33回全日本青年銃剣道大会団体戦須賀川支部A、第14回全国高校生銃剣道大会団体戦福島チーム、第57回国民体育大会秋季大会銃剣道競技少年男子福島県
なぎなた	JOCジュニアオリンピックカップ第10回全国中学生なぎなた大会会津なぎなたスポーツ少年団A
トランポリン	第27回全国高等学校トランポリン競技選手権大会男子尚志高等学校トランポリン部、第27回全国高等学校トランポリン競技選手権大会女子尚志高等学校トランポリン部
綱引	第4回全日本ジュニア綱引選手権大会男子ユースY1クラスY P さすがアニキーズ

優秀指導者賞

（優秀選手の育成に直接貢献した指導者）

陸上競技	川本 和久(福島大学教育学部助教授)	佐藤 修一(内郷高校教員)
軟式野球	天井 正之(いわき市平消防署)	磯崎 邦広(いわき市立泉中学校教員)
ソフトテニス	半沢 一寛(郡山市立郡山第一中学校教員)	
バスケットボール	佐久間仁徳(三春町立要田中学校校長)	
弓道	松本代志博(福島工業高校教員)	星野 重洋(会津学鳳高校教員)
体操	笠原 聡美(福島大学教育学部附属中学校教員)	
バレーボール	根本 勝司(福島銀行)	西丸 賢(いわき市立永井中学校教員)
山岳	佐藤 幸次(福島自衛隊)	
銃剣道	佐藤 亨(福島自衛隊)	畑中 孝平(福島県銃剣道連盟須賀川支部)
		永井 敏政(須賀川高校教員)

社会体育優良団体賞

（地域・職種のクラブとしての活動を通じ、本県の地域スポーツ振興に功績のあった団体）

- ・ふえいむくらぶ(福島県トランポリン協会)
- ・田島レスリングクラブ(南会津地域連合会)
- ・福島不忘スキークラブ(福島県スキー連盟)
- ・会津若松柔道会(会津地域連合会)



「来んさい！しんさい！はじけんさい！ スポレク広島2002！」

「ぜひ集まってください。」「気軽に参加してください。」「思いっきり楽しんでください。」という気持ちを込めたスローガンのもと第15回全国スポーツ・レクリエーション祭が10月5日～8日までの日程で広島県で開催されました。

スポーツ・レクリエーション活動を全国的な規模で実践する場を提供することにより、国民一人ひとりのスポーツ・レクリエーション活動の振興に資することを目的に開催され、ボランティア8,000名による開会式など感動的な大会となりました。

本県から参加の18種目176名の選手団も、大会を通して他県の選手との交流を深めました。



フィールドミュージカルなど感動的な開会式



グラウンドゴルフ



トランポリン：シャトル競技



ラージボール卓球



女子ソフトボール



年齢別ボウリング



壮年サッカー

福島県スポーツ指導者協議会

平成14年度福島県スポーツ指導者研修会

「エンジョイ・スポーツセミナー2002」から

期日：7月7日（日） 会場：日本大学工学部 参加人数：224名

講演1「ロッカールームのサイエンス」



国立スポーツ科学センター
前任研究員 和久 貴洋先生

1. ロッカールームにおける活動
教育的な活動、戦略・戦術の分析、健康管理等を通して選手に情報を出す場として重要な役割をもっている。有益な情報を良い活動につなぐことが大切である。諸々の要素をもつロッカールームは、スポーツ医・科学のエッセンスが集まり、情報発信のステーションでもある。ロッカールームは科学の分野とは直接的なかわりはないが、ここで活動する人たちの情報源となり、有益な情報を現場に伝えていく役割をもっている。更衣室から機能的に発展して、スポーツ医・科学のノウハウをフルに活用する場としていくのがロッカールームのあるべき姿といえるのではないかと。
2. ロッカールームにある科学
疲労回復の手段として水分補給、エネルギー補給、コンディションチェック、アイシング、マッサージ等が施されるが、これらは科学的な裏付けにより行われるべきものである。水分摂取の効果は体温上昇の防止、水分・電解質の補給、運動能力の維持・向上、疲労回復、エネルギー源の補給等のために科学的研究がなされ、熱中症、脱水症の予防に積極的に取り入れられるようになった。ストレッチングも柔軟性の確保や怪我の予防にその効果が得られる重要な要素だ。また、各種スポーツの種類別により戦略・戦術、コンディショニングの方法等、それぞれトレーニング計画が異なるが、研究を重ねて良い結果を残すための方策を見いだすことが求められる。
3. 科学の成果がロッカールームに生きるまで
科学の成果が次の順序で伝達され行動にいたるような流れができる。

資料（論文） 情報 知識 行動
（研究成果のエッセンス） （実際の行動）

講演2「総合型地域スポーツクラブのあり方について」



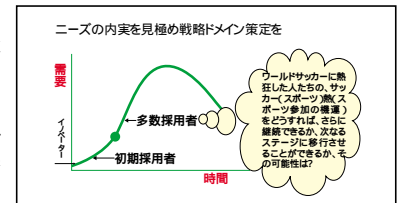
大阪教育大学
助教授 赤松 喜久先生

1. 総合型地域スポーツクラブと地域におけるスポーツ振興
「総合型」という表現にとまらぬが、多様種・多世代型というクラブの形態（形式）上の特徴は、始まりではなく、クラブ育成の過程（ないしは結果）であるという認識が重要である。
一時（臨時）的に形成される集団ではなく、継続的に維持されるクラブ（倶楽部）：楽しみの空間を地域に確保していく過程はクラブの総合型化になる。
今、なぜ地域なのか。特に学校のおかれている位置は？

現在、完全週5日制となった学校教育のなかで、運動部は教育活動としての位置づけが難しくなっている。子どもたちを地域の中で活動できる仕組みをつくるのが急務となった。「誰が、どこで、どのように、」全国各地で思考錯誤を重ね総合型地域スポーツクラブづくりに立ち上がっている。単一種目でも立派な総合型地域スポーツクラブである。

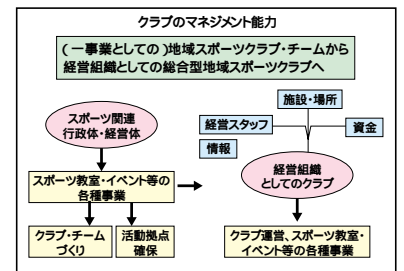
2. 地域スポーツクラブの育成・発展過程

クラブの会員・メンバー（顧客）になるであろう人のニーズはどこにあるか。対象の子ども、高齢者、初心者に対応できる体制づくり。



3. クラブのマネジメント能力

地域スポーツクラブを経営組織として確立するためにどんなマネジメント能力が求められるか。



講演3「高齢者とスポーツライフ」



早稲田大学スポーツ科学科
教授 福永 哲夫先生

年を重ねること（加齢）は、筋肉、骨や神経など身体を構成する諸器官の発揮機能の低下をひき起こす。一方で適切な身体運動をしなければ筋・骨格系、呼吸循環系、神経系などの器官・組織は退化する。一般に歳をとるともないう身体運動は減少する傾向にあるので、身体の各器官や組織は加齢に運動不足の影響が加わり加速度的にその機能を低下させることになる。筋機能の低下は姿勢の悪化、腰痛、骨粗鬆症などの各疾患を誘発し、「寝たきり」などの現象を起こすことになる。つまり高齢者にとって健康的な日常生活を行うためには、適当な身体運動が必要不可欠であることを意味する。身体を構成する筋肉や骨格が歳とともに老化する現象を正確に知り、その対策を考え実行することは、高齢社会において健康で文化的活動を継続のための必要不可欠な要素である。

そこで先生は、加齢にとまらぬ筋、骨、脂肪の変化をみるとともに、適切に身体運動を行っている高齢者の例を紹介され、日常生活における身体活動の重要性について、次の観点から実技を加えて提言されました。

筋肉の老化は部位により異なる。（大腿前が最も著しい）身体不活動は筋機能を著しく低下させること。高齢者でもトレーニングにより筋機能は高まること。高齢者が日常実施できるプログラム。

「往年の名選手の躍動！」

『日本スポーツマスターズ2002・神奈川大会』

「めざすは、やっぱり金だろう！」のスローガンのもと、日本スポーツマスターズ2002が、11月9日から12日までの日程で神奈川県で行われました。

全国から6,000人を超える選手・役員が参加。陸上や水泳、今年から実施される自転車など計13競技が開催されました。本県からは9競技（陸上競技・テニス・バレーボール・バスケットボール・自転車・ソフトボール・バドミントン・空手道・ゴルフ）に111名の選手・監督が参加し熱戦が展開されました。

また、大会期間中、競技と同時にスポーツ教室が開催され、シンボルメンバーによるレベルの高い指導が行われました。



開会式：シンボルメンバーの紹介

（左から岡山恭崇、衣笠祥雄、中野浩一、谷川真理、樋口久子、中山律子、木原光知子、陣内貴美子、大林素子）他に川合俊一、松岡修造、ラモス瑠偉の12名。



川合俊一バレーボール教室



男子バレー：本県チームの作戦タイム



陸上：女子砲丸投優勝の嘉成選手

ニュースポーツ種目の紹介

「フライングディスク」

福島県フライングディスク協会
会長 永林 忠

近年の急速な時代変化は、生活様式の変化とともに「スポーツを通しての健康づくり」への関心が高まりつつあります。

フライングディスクは、ディスクを投げることによって成立する競技で、全部で10種目あります。

安全で手軽であり、いつでも、どこでも、誰でもできることから世代を超えて楽しめる生涯スポーツとして全国的にも注目されています。

県内における「フライングディスク」への関心は、



ディスクゴルフの様子

まだ一部の愛好者によって活動されるにとどまっているのが現状でしたが、平成14年度に「福島県フライングディスク協会」が会員75名で発足しました。主に会津本郷町の「愉快的仲間たち」というサークルを中心に活動し、家族単位で大人から子供までアルティメットやディスクゴルフ、ドッチビーなどを熱く楽しんでいます。会津大学にもアルティメットサークルが誕生しました。

福島県レクリエーション協会に加入団体として認められ、ニュースポーツとして底辺拡大、愛好者のレベルアップのためその普及活動を推進していきたく思います。

＜事務局＞
南会津郡下郷町大字沢田字宅地続甲25
渡部 貴人
TEL 0241-67-4127・FAX 0241-67-2786(クラブジュニア部)



ディスク

生涯スポーツ実践者の紹介

『スポーツと私』

原町市小学生バレーボール連絡会
会長 江本 節子



隣組対抗のバレーボール大会が伝統の行政区に居を構えたことで、当家代表選手になるために市の婦人バレーボール教室に参加したのが30年近く前、美容体操のつもりで始めたバレーボールが、その後私の人生に大きな彩りを添えてくれることになりました。

程なくママさんバレーのクラブを結成し、それはそれは楽しい友達とのスポーツ活動でした。当時、小学校三年生だった娘の「私もバレーボールがやりたい！」のひとことで、スポーツ少年団の発足を思い立ちました。市内全小学校に女子の入りやすいバレーボールスポ少の設置を目指すと同時に健全育成のためのスポーツ活動の普及を図るための組織作りをしました。当初はさしたる考えもなく、健全育成と楽しいスポーツを心掛けたただけだった私も、年月を経ると指導者としてよりよいものを子どもたちに提供すべく研鑽をしました。

現在は、スポ少から高齢者まで多くの皆さんとのふれあい中で、講義や実技、イベントなどの講師として、

至福の時を共有させていただいております。

今年度は、アジア大会に出場した高校生や大学生、日中国交正常化30年記念日中女子合同登山隊の一員となった女性登山家を輩出するなど嬉しいニュースがありました。

また、クラブネット監修「ジグソーパズルで考える総合型地域スポーツクラブ」が出版され、執筆者の一人として私の思いを述べさせていただく機会にも恵まれました。

高齢者には健康で生きがい創出になるスポーツ、子どもや若者には好きになるスポーツ・好きになったら継続できるなど、みんなのスポーツ実践のための環境の整備を模索する毎日です。スポーツを通じてのたくさんの出会いと彩りに感謝しながら・・・。



体育施設とスポーツ教室の紹介

心のびのび、体いきいき、健康づくり!

いわきゆったり館

いわき市健康・福祉プラザ「いわきゆったり館」は、平成10年にオープンした複合施設で、温泉利用型健康増進施設（クアハウス）、宿泊・研修施設、在宅で介護が必要な高齢者に対応した在宅福祉施設の3つの施設で構成されています。クアハウスには、温泉の他に温水プールやトレーニングルームの設備があり、健康づくりのための指導を行っています。その他にも、プールを利用したアクアビクス教室やいきいき健康教室といった有料の講座もありますので、日頃の運動不足やストレス解消にお役立てください。また、いわきゆ



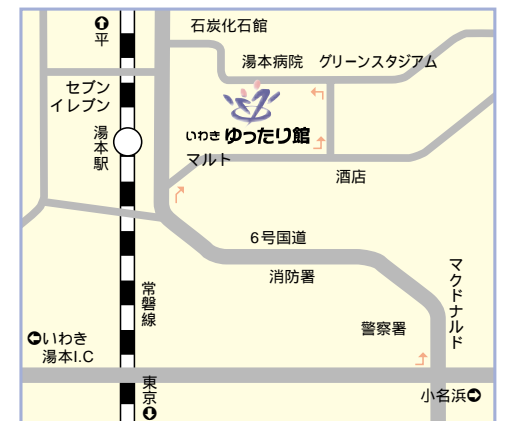
ったり館は、全館段差を解消したバリアフリー仕様ですので、車椅子の方や高齢者の方も安心して御利用になれます。65歳以上の方や障害者手帳をお持ちの方は、入場料金が半額に免除されますので、証明できる物を提示してください。皆様の御利用をお待ち致しております。



いきいき健康教室
(リズム体操)



水着浴コーナーでリフレッシュ



〒972-8321
福島県いわき市常磐湯本町上浅貝22-1
TEL(代表) 0246-43-0801
(宿泊専用) 0246-43-0810
FAX 0246-43-0804

フィットネス本郷 (会津本郷町)

【問合せ先】
会津本郷町公民館
Tel 0242-56-3223
Fax 0242-56-3707

《試行錯誤の中から》

会津本郷町では、総合型地域スポーツクラブを立ち上げようと平成12年11月に体育指導委員定例会（毎月1度）において、説明会を行いました。その中で、総合型のもつメリットとして

- スポーツ文化の醸成
- 青少年の健全育成
- 世代間交流の促進
- 地域のコミュニティの形成
- 地域の健康水準の改善

など多くの付加価値があることから、早急に立ち上げる必要性を理解していただきました。そこで、体育指導委員の方を中心とする設立準備委員会を結成し「継続的なスポーツをとおして、体力・健康の増進と会員相互の親睦を図り連帯の輪を広げて心の豊かさを求める」を目的に準備作業を進め、コーチの募集・メニュー（種目）の決定・会員の募集を行い、2年間は試験期間として会費をとらず無料で開催しました。

その2年間で設立準備委員会のメンバーと会員延べ200名が感じたことは、

総合型の持つメリット（上の～）が確かに感じ取れること。

フィットネス本郷は、自分たちで作れ、育て上げた自分たちのクラブなんだという認識がある。

スポーツは楽しい。生涯続けることが重要だ！

ということです。

《本来の総合型を目指して》

本来の総合型地域スポーツクラブの姿は、会員による自主的な運営と会費による自主財源を柱とする活動であるわけですが、スタッフや会員各々が2年間で～のように感じ取ったことにより、本来の姿に近づけたいという声が出てきました。

そこで、正式にフィットネス本郷の規約の作成とスタッフの構成を確立し、平成14年1月に設立総会を開催しました。スタッフをはじめ、会員が一同に会し総合型地域スポーツクラブの趣旨を改めて理解し、今後の成功を誓い合いました。

現在、フィットネス本郷は、コーチが他町を含む30名、他市町村を含む会員約130名で9種目開催しており、自主財源については、補助金等の支援は一切受けず、会員一人ひとりの会費により運営されています。

また、特色として会員の構成は、家族の参加が多いため家族間のコミュニティはもちろん、多家族同士との交流が図られています。そのため各コーチは、安易に競技志向にならないように配慮しながら指導をしております。また、その種目によりコーチ陣がイベントを企画立案して参加者がさらに楽しめるようにしています。

総合型を取り組んでからまだ数年しか経っていませんが、設立準備委員会のスタッフと指導に汗を流すコーチ陣、そしてスポーツをとおして様々なメリットを享受できることに意義を感じている会員がいる限り、今後、形を変えながらさらに発展していくであろうと考えられます。

フィットネス本郷の根底にあるのは、「遊び」。スポーツは楽しい、生涯続けていこうと感じてもらえればそれだけで幸いです。



<毎週月曜夜のアルティメット>

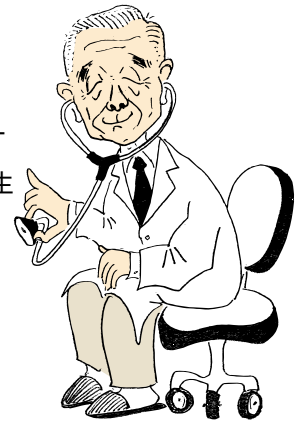


<毎週木曜日のピギネーズバドミントン>

ONE POINT

(財)福島県体育協会スポーツ医・科学委員会委員長
(社)日本医師会(財)日本体育協会公認スポーツドクター

本宿 尚 先生



「スポーツと健康」ワンポイント講座

～アンチ・ドーピング～

スポーツの競技や試合で、選手の競技能力を人為的に不公平に高めるために、薬物などの異物を投与したり、選手自身が使用することを「ドーピング」といいます。

「dope」という言葉が初めて英語の辞書に載ったのは1889年でアヘンと麻薬剤の混合物を競走馬、ドッグレースの犬に与えたと説明されています。

「ドーピング」は(1)競技者の健康を害すること(過去に相当数の死亡例があります)(2)フェアプレイの精神に反すること。(3)反社会的行為であることでスポーツマンとして絶対やってはいけない行為です。

使用禁止薬物としては興奮剤、麻薬性鎮痛剤、蛋白同化剤、βブロッカー、利尿剤などがあげられますが今後はどんどん増えてくると思います。

ドーピング検査は選手の尿で調べます。検査方法としては競技会ドーピング検査、競技会外ドーピング検査(抜き打ち検査)の二種類があります。

ドーピング検査は疑われたからやるものではありません。潔白を証明するために実施するのです。ドーピング検査を受けることは一流選手であることの証拠です。また、ドーピング検査のない競技会は世界で認められません。いよいよ国体でもドーピング検査が始まります。

「ドーピングNO」を福島県のすべての競技者に徹底しましょう。

INFORMATION

<事業紹介> スポーツ医事・トレーニング相談事業

事業内容

スポーツ医事・トレーニングに関する相談を受け、電話・FAX等により回答を行います。また、講演や研修会等における講師派遣の要請があれば相談員を派遣します。

なお、それらにかかわる費用は本協会が負担します。

相談申込み

電話・FAX・Eメールによる相談について

個人・団体を問いませんので、電話・FAX・Eメールで本協会までご連絡ください。

また、本協会のホームページ「HOT-NET」の『スポーツなんでも相談室』も御利用できます。

スポーツドクター等の派遣について

派遣を希望する場合には、実施希望1ヶ月前までに本協会にご連絡ください。

相談員

右記の本協会スポーツ医・科学委員等が相談に応じます。



相談員	所属
本宿 尚 先生	公立藤田総合病院
関根 正男 先生	根田クリニック
待井 一男 先生	井循環器科内科クリニック
菊池 辰夫 先生	菊池クリニック
佐藤 章 先生	立池医科大
堀川 哲男 先生	公立藤田総合病院
吉田 仁郎 先生	ARCCクリニックよしだ整形外
中澤 謙 先生	会津大学文化研究センター
白石 豊 先生	福島大
川本 和久 先生	福島大
森 淑 先生	桜の聖母短期大学

【問合せ先】連絡先：財団法人福島県体育協会 生涯スポーツ係

スポーツ情報ネット



http://www.sports-fukushima.or.jp
E-mail info@sports-fukushima.or.jp

スポーツに関する情報を提供します。

- 団体・組織・指導者
- 年間スポーツカレンダー・イベント紹介
- 競技スポーツ
- 生涯スポーツ
- スポーツニュースふくしま
- コラム「名将に聞く」「名選手に聞く」
- スポーツ施設一覧
- スポーツなんでも相談室・健康チェックなど

平成14年度福島県県民スポーツ振興協力会員名簿

～ 私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

法人・団体の部(加入順)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| (株)東邦銀行
福島県信用金庫協会
(株)ホシ製作所
福島民友新聞(株)
合資会社「東館」
信越半導体(株)白河工場
(株)東北装美
(株)Fリヨシ技研
呉羽環境(株)
(有)番場産業
(株)鈴木石油商会
福島県中央商工振興協同組合
福島日産自動車(株)
大熊町体育協会
池田食品工業(株)
東北電力(株)福島支店
小名浜製錬(株)小名浜製錬所
(株)加地和組
堺化学工業(株)小名浜事業所
(株)渡辺組
堀江工業(株)
名木製帽店
江花建設(株)
(株)ダイユーエイト
福島ヤクルト販売(株)
(株)平和印刷所 | 福島県商工会連合会
福島県信用保証協会
福島県旅館ホテル環境衛生同業組合
東亜道路工業(株)福島営業所
福島テレビ(株)
佐藤工業(株)
ゼビオ(株)
花春酒造(株)
関場建設(株)
福島県中小企業共済協同組合
東関クレテックス(株)
伊藤冷機工業(株)
福島県建設業協会双葉支部
(株)福島中央テレビ
クリナップ(株)わかき事業所
山木工業(株)
呉羽化学工業(株)錦工場
常磐開発(株)
福島運送(株)
東邦亜鉛(株)小名浜製錬所
東急観光(株)福島支店
(株)松崎
滝谷建設工業(株)会津若松店
(株)ハートライン
六陽印刷(株)
(有)エンドースクリーン | (株)クラロンスポーツ
(有)ボンダ印刷
キング印刷(株)
福島県議会スポーツ振興議員連盟
東信建設(株)
福島交通(株)
(株)環境分析研究所
福島県ゴルフ連盟
石川建設工業(株)
東北建設(株)
庄司建設工業(株)
大和自動車交通(株)
福島トヨタ自動車(株)
福島ネオ工業(株)
東京電力(株)福島事務所
(株)山川印刷所
新日本ソルト(株)製造部
日本化成(株)小名浜工場
錦興業(株)
常磐興産(株)
大塚製薬(株)郡山出張所
(株)海老名建設
アサヒ通信(株)
(株)ヤクルト本社福島工場
タカラ印刷(株) | 福島県信用組合協会
(有)吾妻印刷
(株)福島民報社
磐城通運(株)
福島ゴム(株)
橋本フォーミング工業(株)福島工場
(株)古瀧
(株)ウエディングエルティ
新田産業(株)
(有)ひらい
富岡町体育協会
原町港湾運送(株)
谷口工業(株)
檜葉町体育協会
(株)アクト
(株)民報印刷
福浜工業(株)
クレハ建設(株)
(株)福島テレビエンタープライズ
(株)日進堂印刷所
陽光社印刷(株)
(株)高橋建設
福島ガス(株)
寿建設(株)
(株)タナカ情報ビジネス福島営業所 |
|---|--|---|--|

個人の部(加入順)

- | | | | | | |
|---|--|--|---|---|--|
| 片平 俊夫
本宿 尚
吉田 政勝
青木 稔
三瓶 昌久
鈴木 清文
橋 和彦
福島県教育庁スポーツ健康課職員一同 | 下山田好宏
結城 勝夫
猪俣 昭洲
佐藤 昌志
国井 裕一
内川 耕司
上竹 毅
(財)福島県体育協会職員一同 | 下山田恵一
佐藤 十次
林 幸夫
前田 長
岩田 徹
服部 啓吉
荒川 信郎
(財)福島県体育協会職員一同 | 河原 享
古市 孝雄
朽木 耕作
五十嵐源一郎
伏見 俊哉
佐藤 真一
古川 忠信 | 吉田 安男
内藤 繁
岩本 忠夫
矢内 哲郎
香野 喬一
吉田 伸一
永山 美智子 | 北村 孝男
斎藤 久男
豊田 博隆
本田 俊教
鈴木 浩一
穴戸 正幸 |
|---|--|--|---|---|--|

加入のお願い

「福島県県民スポーツ振興協力会」は、「ふくしま国体」の成功を契機に設立され、7年目を迎えました。この協力金は、生涯スポーツを推進し、県民の「だれもが、いつでも、どこでも」気軽にスポーツに親しむことができるようにするために、また、県の競技力の維持・向上を支援するために活用されています。本協力会の趣旨を御理解いただき、会員は年々増加しておりますが、より多くの方にご加入いただき本県のスポーツ振興を支えていただきますようお願いいたします。

- 加入期間.....入会后5年間
協力金額.....毎年度あたり1口1万円。1口以上何口でも可。
加入窓口.....財団法人福島県体育協会事務局 総務係 TEL024-521-1291

編集後記

今年度2回目の発行となります。年はじめには、高校サッカーや駅伝の活躍があり、大いに県民のスポーツ熱を高めてくれました。また、第58回国民体育大会の皮切りである冬季大会スケート競技、スキー競技において、数多くの入賞を果たし、さい先のよい滑り出しとなりました。一方、生涯スポーツの面では、総合型地域スポーツクラブの育成支援を進め、来年度から中通り広域スポーツセンターが開設されます。これからも、たくさんのスポーツ情報を提供できるよう努力してまいります。

本誌は、スポーツ振興くじ(toto)助成事業と財団法人福島県スポーツ振興基金助成事業(情報提供事業)により作成したものです。



広域スポーツセンター

「総合型地域スポーツクラブ」の育成、定着を支援します。お気軽にご連絡ください。

うつくしま広域スポーツセンター (あづま総合体育館内)

福島市佐原字神事場1番地
http://www.sports-fukushima.or.jp/USC/usctop.html
E-mail azuma-kouiki@k2.dion.ne.jp

TEL 024-594-0015
FAX 024-594-0016

浜通り広域スポーツセンター (Jヴィレッジ内)

双葉郡楳葉町大字山田岡字美シ森8番地
http://www.sports-fukushima.or.jp/HDSC/hamaSC.html
E-mail hama-kouiki@k4.dion.ne.jp

TEL 0240-26-0555
FAX 0240-26-0556

スポーツ安全保険

スポーツ・文化・ボランティア活動に最適な保険です。5名以上でご加入下さい。

お問い合わせ

(財)スポーツ安全協会 福島県支部

TEL 024-521-1291